

高階秀爾先生と楽しむ 【人生を豊かにする芸術—絵画と物語】



講師

美術史家・美術評論家・大原美術館館長、
西洋美術振興財団理事長、東京大学名誉教授

高階秀爾 Shuji Takashina

豊麗多彩な物語の世界は、どのように絵画化されたのか—

物語は常に絵画の題材となってきました。神話や聖書、ハムレットや源氏物語など、物語から多くの名画名作が生まれました。画家は、物語をどのように受け止め、イメージ化し、表現しようとしたのでしょうか。

本講座では、物語を題材に描かれた作品を取り上げ、比較しながら鑑賞

し、絵画と画家を紐解いていきます。題材を同じくすることで画家の解釈や表現の違いが鮮明に浮き上がり、背景にある時代の価値観や文化現象を読み解くことができます。言葉とイメージが共鳴しあう、豊かな芸術世界を味わいましょう。

10/8 水

第1回

18:30～21:00

『黄金のロバ』 流転する魂のドラマ

ローマ時代、2世紀後半に弁論作家アプレイウスは、『黄金のロバ』を著しました。古典ラテン語による最古の物語に芸術家たちは何を見出したのでしょうか。ジェラルドによる「ブシュケとアモル」、カノーヴァによる同題の彫刻作品などから、流転する魂のドラマを紐解きます。

11/19 水

第4回

18:30～21:00

『サロメ』 切られた首

『サロメ』は、『聖書』を題材にしながらも、『聖書』にはない場面を描いて、独自の物語世界を歩みます。ギュスターヴ・モロー、ピアズリーなどの作品から、サロメという題材と切られた首のもつ象徴的意味を考えます。

10/22 水

第2回

18:30～21:00

『ハムレット』 「尼寺へ行け、尼寺へ…」

言葉の魔術師とも呼ばれたシェイクスピアは、一つの台詞、一行の詩句に、さまざまな意味を担わせました。ドラクロワ、J.E.ミレイなどの作品を通して、言葉にこめられた意味や見る人の視点によって変わる構造を見ていきます。

12/3 水

第5回

18:30～21:00

『伊勢物語』と 『源氏物語』

和歌、絵巻、琳派、浮世絵、そして、現代芸術へと日本の物語文化は脈々とつながり、豊かな独特の世界を有します。日本の代表的作品『伊勢物語』と『源氏物語』から、日本の伝統や文化のあり方をじっくりと見ていきます。

11/5 水

第3回

18:30～21:00

『神曲』 甘美な追憶の悲哀

ダンテの『神曲』が包含する宗教性と人間性は、当時非常に衝撃でありました。「パオロとフランチェスカの物語」を描いたアングル、ブレイクなどの作品から、『神曲』にみる世界観、宗教観、人間観を見つめます。

12/17 水

第6回

18:30～21:00

『たけくらべ』と 『ぼくとうきだん』 『瀬東綺譚』

鍋木清方は樋口一葉の『たけくらべ』の、木村荘八は永井荷風の『瀬東綺譚』の、挿絵をそれぞれ手がけました。時代をへて形式を変えながら受け継がれ、現代の漫画へとつながる、日本独特の言葉とイメージの芸術性から、豊かな芸術世界を堪能しましょう。

巨匠の名画から知られざる名作まで

世界で評される名画から知られざる名作まで、日本を代表する美術史家 高階先生が選ぶ多数の作品を鑑賞しながら学びます。

個性的な美術鑑賞

高階先生がこれまで取り上げたことのなかった切り口、物語から絵画を読み解きます。

講師プロフィール

高階 秀爾(たかしな しゅうじ)

1932年生まれ、東京大学教養学部教養学科卒業、同校院在中フランス政府招聘給費留学生として渡仏、パリ大学付属美術研究所及びルーヴル学院で西洋近代美術史を専攻。東京大学文学部助教授、同教授、国立西洋美術館長等を経て現職。2000年紫綬褒章、01年フランス、レジオン・ドヌール シュヴァリエ勲章、02年日本芸術院賞・恩賜賞、05年文化功労者、12年文化勲章。

数多く書を著し、特に1969年刊行の『名画を見る眼』は、45年の間名著として読み継がれ、啓蒙的役割を果たしてきた。ルネッサンス以後の西洋美術を専門としながら日本近代美術にも造詣が深く著書多数。

●主な著書

『名画を見る眼』『続 名画を見る眼』(岩波新書、1969・1971年)、『西洋の眼 日本の眼』(青土社、2001年)、『日本美術を見る眼』(岩波書店、1991年)

開催概要

日程	2014年10/8、10/22、11/5、11/19、12/3、12/17(すべて水曜日)
回数	6回
時間	18:30～21:00(2.5時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円(消費税8%込)
お勧めしたい方	・絵画はじめとする美術作品について理解を深めたい方 ・芸術の奥深さに触れ、魅力を堪能したい方

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

参加者

講座名	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む	
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所(資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度(個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(「夕学五十講」を除く。)
◆20%割引:108,000円(税込)以上の、「agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)
過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

「agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いします。